

令和6年度学校評価 計画

学校名	大町町立小中一貫校大町ひじり学園		
1 前年度 評価結果の概要	・学力向上については、「大町型授業」について共通理解を図り、授業改善に取り組むことができた。6年生以下での学力の向上を図る必要がある。 ・児童生徒が夢や誇りをもてるよう体験的な行事や地域と連携した学習を行った。今後は「社会や地域に貢献する」児童生徒を育成するため、心の教育の充実を図る必要がある。		
2 学校教育目標	「大磨 智誠」 ～知・徳・体を大きく磨き、人格の完成を目指す～ 「夢に向かって絆・全力・挑戦」 ～夢と誇りをもち、社会をたくましく生き抜く児童生徒の育成～		
3 本年度の重点目標	①主体的に学ぼうとする態度を育てる学習指導の工夫と教育DXの推進を図る。 ②児童生徒会組織への移行により、主体性とリーダーの育成を図る。 ③部会や主任会におけるボトムアップを通してシステムの改善および意識改革を図り、働き方改革を推進する。		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上にする。 ○授業評価アンケートで、肯定的な回答をする児童生徒の割合を80%以上にする。 ○授業の中で学習用パソコンを活用することができたと感じる児童・生徒を90%以上にする。 ○家庭学習で、自主的な学習に取り組んでいると感じる児童・生徒を80%以上にする。	・共通実践についての共通理解の場の設定と意識化 ・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用した授業づくりと授業力向上の推進 ・授業改善リーフレットを活用した授業チェック ・授業評価アンケートの実施 ・校内研究での授業研究会・研修 ・学習規律について、共通理解の場の設定と「学習のルール」に準じた指導 ・パソコン活用における実践交流の場の設定 ・研修会の実施 ・eライブラリの活用 ・「家庭学習のすすめ方」の配布による自主的な学習の取り組み方紹介
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	○命の大切さや相手の立場を考えて思いやることができるようになったと言える児童生徒を80%以上にする。 ○「いじめの早期発見、早期対応に努める」と回答する教職員を100%とする。 ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上にする。	・生命尊重、思いやり等の道徳授業の実践 ・本物に触れる体験活動の取組 ・平和集会、人権集会の取組 ・Q-Uの実施、心のアンケート(毎月) ・教育相談部会(月末火曜日6時間目) ・小中合同生徒指導・教育相談連絡会(年2回) ・児童生徒情報交換連絡会(隔週) ・「出番・役割・承認」の開発的生徒指導の実践 ・夢や誇りをもち、もてるような体験的な行事や地域と連携した学習の実施
●健康・体づくり	○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○大町型体育の推進 ○防災教育・安全教育の推進	○「健康に良い食事をしている」と思う児童生徒を90%以上にする。 ○体育、保健体育の学習や外遊び、運動が楽しいと思う児童生徒を80%以上にする。 ○学校内外での安全意識を高める。 ○災害時において取るべき行動について正しく理解している児童生徒の割合を90%以上にする。	・学級活動等における食育指導の推進 ・朝食の意義や食事の大切さについての児童生徒の啓発及び家庭への協力の呼びかけ ・全学級における学級活動での栄養教諭を中心とした食育指導の実践 ・体育、保健体育の学習指導の工夫と職員研修による指導力向上 ・運動環境の充実と外遊びや運動の奨励 ・体育的行事(体育大会、ひじり杯、クラスマッチ、ひじりマラソン、スポーツチャレンジ)の実施 ・登校指導・各種訓練・危険箇所の点検見回りの実施とその結果を活かした児童生徒への指導 ・防災についての講話や体験を通じた主体的に行動することや支援者としての態度の育成
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●月の時間外勤務時間を昨年度比減10%以上にする。	・毎週水曜日午後は職員裁量時間として運用 ・定時退勤日(水・金)の推進 ・(長期休業中の学校閉庁日の設定) ・部活動休業日の設定 ・教科担任制の推進 ・勤務時間外留守番電話の設定
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○キャリア教育の推進	◎生徒が夢や誇りをもち、社会をたくましく生き抜くための教育活動	◎「将来の夢や目標」をもち、目標を意識して活動ができていると感じる児童生徒の割合を80%以上にする。	・地域と連携した教育課程を編成し、地域の方から多様な生き方を学ぶ学習活動を実施する。 ・教育活動全体を通して計画的にキャリアパスポートを活用することで、系統的に進路や生き方について考える機会を設定する。
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育			
5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・		